

NO. 3	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	4	竹 田 努	
<p>1. 台風対策（大雨）について</p> <p>当町は、災害の比較的少ない町並びに移住定住の適地として考えていましたが、道内各地の被害状況から適地として厳しく判断しなければならなくなりました。</p> <p>8月に入って、道内に上陸、接近した台風が5号から6回、過去にはなかった数です。道内各地では、記録的な大雨によって、土砂災害、河川の氾濫や人的被害を伴う大災害となりました。</p> <p>当町は、台風10号の強風、高波等によって、一次産業をはじめ家屋等に被害が出ておりますが、雨量が少なかったのが幸いしたのではないのでしょうか。</p> <p>道内各地の大雨状況からも50年に一度など、過去に例がない大雨が発生しています。海に面した地形から高波による越波対策、大雨に対する事前策等について、町長の見解を伺います。</p> <p>2. 平成35年度以降の町財政の見通しについて</p> <p>先の委員会で、平成28年7月修正の木古内町財政収支計画が示されました。平成19年度からの財政健全化の取り組み等から、平成27年度決算（推計）は大幅な黒字、基金残高も19億円余りとなり、財政健全化の成果と思っております。</p> <p>特に、少子高齢化が著しい我が町にとって、上記基金残高を維持できればと願うところであります。</p> <p>今回の収支計画で7年後、平成35年度推計決算での基金残高3億7,000万円まで減少し、このままでは安心して木古内町が維持存続できるのか、数字を見るからにはとても心細い心境にならざるを得ないのではないのでしょうか。</p> <p>今日まで、財政担当からは毎年収支計画の修正をし、歳入の主たる地方交付税についても厳しい査定で収支バランスを保ってきましたが、平成35年度以降の財政の見通しについて、町長の見解を伺います。</p>			町 長

